



# 航空機を 支える

▶92

## 8社が団結

将来成長が期待される航空機産業の一翼を担おうと、静岡県西部の工作機械や金属加工メーカーなど8社が「浜松航空機産業プロジェクト」を発足した。会長に就任した大澄信行オリオン工具製作所(浜松市浜北区)社長は「強い意志を持った8社が団結し、宇宙航空技術活用研究会(サット研)に参加し、セミナーなどを通じて業界動向などを探ってきた。しかし、勉強会中心の研

のほかエンシュウ、アオヤマ精工(静岡県磐田市)、テクノ・モーターエンジニアリング(同)、浅沼技研(浜松市西区)、フローチ研削工業所(同東区)、岩倉溶接工業所(静岡県島田市)、エステック(同清水町)。各社は産業クラスター計画の一環として2005年に浜松市で発足した宇宙航空技術活用研究会

## 浜松航空機産業プロジェクト

# 自動車技術を応用

研究会のままで受注に結びつけることは困難と判断。た。

エクト発足に立ち上がった。取得など参画に備えた。

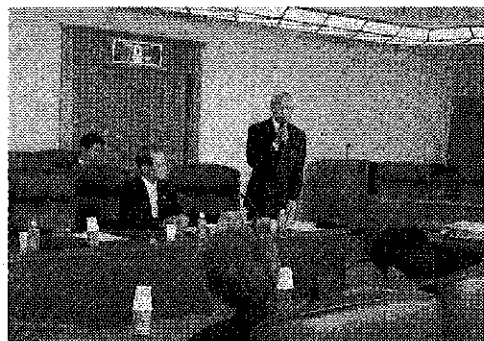
## 共同受注を目指す

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の加工技術開発などに取り組むため、SAT研の有志8社がプロシ

「品質規格が厳しく、メーカからユニットに切り替える動きにも着目している。航空機の機体構成部品やエンジン部品加工、航空機生産用の工具や設備の個別受注を目指すほか、共同受注を形成してユニットの一貫生産体制を構築する。共同受注では代表企業が窓口になり、生産までのQCD(品質、コスト、納期)の全責任を負う。

一方、航空機産業の国内市場は1兆2000億円。国は30年に3兆円に増やす計画を描く。さらに世界には40兆円の市場が広がる。「長く険しい道のりになるのは承知の上。自動車で培った技術を生かし、航空機で新たな産業と雇用を創出したい」(大澄会長)と新

フィールドでの飛躍を誓う。



▲..... プロ発足式であいさつする大澄オリオン工具製作所社長

産業と雇用創出 各社とも静岡県西部でさ

(金曜日に掲載)

## 機械・ロボット・航空機